編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	教 科 種 目				
103-80	高等学校	国語	国語 文学国語				
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号		教科書名				
212 桐原	文国 711	探求 文学国語					

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「文学国語」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある 目標と「文学国語」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判 断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

- ①指導しやすい2部構成
 - 多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「I部」「II部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。
- ②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。 また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の 末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材に おける最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けた。言語活動のうち、「文学国語」の科目の特性を生かした発展的な活動については、「活動のプロセス」を配置・設定した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所(ページ)
I 部「小説」5 単元 (8 教材) Ⅱ部「小説」4 単元 (8 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培えるよう、I部に「小説」5単元、Ⅱ部に「小説」4単元を設け、多彩な内容を持つ16教材を配した。(第1号) ②正義と責任、男女の平等、自己と他者との関係について考えを深められるよう、I部に「小説」5単元、Ⅱ部に「小説」4単元を設け、多彩な内容を持つ16教材を配した(第3号)。 ③I部に、生命を考える教材「虫のいろいろ」を配した(第4号)。 ④Ⅱ部に、環境と人間の関わりを考える教材「氷男」を配した(第4号)。	①② $16\sim36$ $46\sim58$ $85\sim108$ $150\sim171$ $178\sim211$ $220\sim238$ $248\sim275$ $290\sim330$ $354\sim398$ ③ $150\sim161$ ④ $354\sim367$

I 部 「文学評論」2 単元 (2 教材) II 部 「文学評論」2 単元 (3 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、I部に「文学評論」2単元、Ⅱ部に「文学評論」2単元を設け、多彩な内容を持つ5教材を配した(第1号)。	①38~45 172~177 239~247 338~353
I 部 「詩」単元 「短歌・俳句」単元 II 部 「詩」単元 「短歌・俳句」単元	①幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培えるよう、I部・II部それぞれに「詩」単元と「短歌・俳句」単元を設け、多彩な表現に触れられる教材を多数配した(第1号)。	①66~77 109~119 276~283 332~337
I 部「随想」1 単元 (1 教材) Ⅱ 部「随想」1 単元 (1 教材)	① I 部に「随想」1 単元を設け、人生や職業、個人の生き方を考える教材「自分を解釈してもらう喜び」を配した(第2号)。② Ⅲ部に「随想」1 単元を設け、幅広い教養と豊かな情操を培える教材「客ぎらい」を配した(第1号)。	①80~84 ②284~287
テーマ型単元 I 部「戦争と人間」 (3 教材)	①平和を考えるテーマ型単元「戦争と人間」を設け、小説・ 紀行文・詩による多様な表現様式の3教材を配した(第5 号)。	①122~149

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・世界や人生に対する感触を呼び起こすものとしての小説の役割について触れた「感触―世界のリアル」を導入文として設け、「文学国語」への学びの動機付けとした。
- ・小説教材の末尾にミニコラム「小道具と時代背景①~⑤」を設け、小説作品に登場する事物が映し出す時代背景を解説し、小説読解の一助とした。
- ・小説の語りの構造や作品の文学史的な意義などを解説した「小説コラム $1\sim4$ 」と、詩の風合いや言葉の手触りを楽しむことについて触れた「詩コラム」を設けた。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	教 科 種 目					
103-80	高等学校	国語	国語 文学国語					
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号		教科書名					
212 桐原	文国 711		探求 文学国語					

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現を持つ文学的な文章および文学に関する評論文から厳選し、多種多様な表現形式の教材に触れることができるようにした。さらに、主体的な表現力養成を補佐するために「活動のプロセス $1\sim6$ 」を設定し、言語活動の充実をはかった。また、言語文化に対する理解を深めるために、巻頭巻末に「付録」、教材末尾に「小道具と時代背景① \sim ⑤」「小説コラム $1\sim4$ 」「詩コラム」を設けた。

2. 対照表

		図書の構成・内容	該当	学習指導要領の内容			配当時数	
部	単元	教材名	箇所 (ページ)	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	А	В
		掲載作品の舞台・作者ゆかりの地	前見返し	(2)イ	_	_	_	_
		文人の筆跡	付録	(2)イ	_	—	_	_
		感触―世界のリアル	10~15	(1)ウエ(2)イ		(1)アカ		2
		ランドセル	16~28	(1)アイウエ(2)アイ	(1)アイ		2	
	小説 I	活動のプロセス1 本を紹介する	29~31	(2)イ	(1)アイ		1	
	八流兀工	途中下車	32~36	(1)アイウエ(2)アイ		(1)アイ		4
		[小道具と時代背景①] 固定電話	37	(1)ウ	_		_	<u> </u>
	文学評論 I	もののふの心―言葉とコトバ	38~45	(1)ウエ(2)イ		(1)アカ		4
	小説Ⅱ	山月記	46~58	(1)アイウエ(2)アイ	(1)アウ		4	
I		〔小説コラム1〕語り手という虚構の存在 一三人称小説の「語り」	59	(1)ウエ	_		_	_
部		生は乃ち君等と伍を為さんや〔人虎伝〕	60~62			(1)ウオ		2
		活動のプロセス2 古典作品を翻案する	63~65	(1)イエ	(1)アウ		1	
		天景・猫	66~67	(1)アイウエ(2)アイ		(1)ウエ		1
	詩	永訣の朝	68~71	(1)アイウエ(2)アイ		(1)ウエ		1
		サーカス	72~73	(1)アイウエ(2)アイ		(1)ウエ		1
		৯ と	74 ~ 75	(1)アイウエ(2)アイ		(1)ウエ		1
		〔詩コラム〕詩の風合いとゆで卵の殻の 関係について	78~79	(1)ウエ				_
	随想	自分を解釈してもらう喜び	80~84	(1)アイウ(2)アイ		(1)オキ		4

図書の構成・内容		該当	学習指	導要領の内	容	配当	当時数	
部	単元	教材名	該当 箇所 (ページ)	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	А	В
		復讐	85~95	(1)アイウエ(2)アイ		(1)アエ		5
	小説皿	〔小道具と時代背景②〕電報	95	(1)ウ	<u> </u>	_	_	_
		アイデンティティ	96~108	(1)アイウエ(2)アイ	(1)アウ		2	
		麦わら帽子のへこみ	109~113	(1)アイウ(2)アイ		(1)イキ		1
	短歌•俳句	短歌八首	114~115	(1)アイウエ(2)アイ	(1)ウエ		1	
	超歌 * 1非可	俳句八句	116~117	(1)アイウエ(2)アイ	(1)ウエ		1	
		活動のプロセス3 短歌を作る	120~121	(1)イエ	(1)ウエ		2	
		靴の話(小説)	122~133	(1)アイウエ(2)アイ		(1)オカ		5
I	W1.42 1.88	米坂線109列車(紀行・随想)	134~145	(1)アイウエ(2)アイ		(1)アイ		5
部	戦争と人間	[小道具と時代背景③]ラジオ	145	(1)ウ	<u>—</u>	_	_	_
		根府川の海(詩)	146~149	(1)アイウエ(2)アイ		(1)オカ		1
	小説Ⅳ	虫のいろいろ	150~161	(1)アイウエ(2)アイ		(1)イエ		4
	小記Ⅳ	日曜日はどこへ	162~171	(1)アイウエ(2)アイ	••••••	(1)イカ		4
	文学評論Ⅱ	餓鬼道としての詩	172~177	(1)ウエ		(1)アオ		4
	小説V	こころ	178~211	(1)アイウエ(2)アイ		(1)エカ		8
		[小説コラム2] 小説手法の模索―漱石の場合	212~213	(1)ウエ	<u> </u>	—	_	_
	小品化	活動のプロセス4 読書会をする	214~217	(2)1		(1)エカ		1
		〔参考〕「こころ」の舞台を歩く	218	(2)イ	_	_	_	_
	小説 I	愛のサーカス	220~230	(1)アイウエ(2)アイ		(1)イキ		4
		少年という名前のメカ	231~238	(1)アイウエ(2)アイ	(1)アウ		2	
	文学評論 I	詩人のふるさと	239~247	(1)ウ		(1)ウオ		4
		檸檬	248~258	(1)アイウエ(2)アイ		(1)アカ		5
	小説Ⅱ	[小道具と時代背景④]肺結核	259	(1)ウ			_	_
		バックストローク	260~275	(1)アイウエ(2)アイ		(1)アオ		5
		春殖・冬眠・富士山(作品第拾壱)	276~277	(1)アイウエ(2)アイ		(1)オキ		1
I	詩	アイスクリーム・猛烈な天	278~279	(1)アイウエ(2)アイ		(1)オキ		1
部		● (巨きなピリオド)	280~283	(1)アイウエ(2)アイ		(1)オキ		1
	随想	客ぎらい	284~287	(1)アイウエ(2)アイ	(1)ウエ		2	
		活動のプロセス 5 エッセイを書く	288~289	(1)エ	(1)ウエ		2	
		畜犬談	290~304	(1)アイウエ(2)アイ		(1)イエ		5
	小説皿	[小説コラム3] 語る「私」と語られる「私」 — 一人称小説の「語り」	305	(1)ウエ	_	—		_
		変身	306~330	(1)アイウエ(2)アイ		(1)ウキ		5
		〔参考〕不条理文学の巨頭 カフカとカミュ	331	(2)1	_			

図書の構成・内容		」 該当	学習指導要領の内容			配当時数		
部	単元	教材名	ー 成当 箇所 (ページ)	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	Α	В
		短歌—寺山修司十首	332~333	(1)アイウエ(2)ア イ		(1)オキ		3
	短歌•俳句	俳句―虹の俳句七句	334~335	(1)アイウエ(2)ア イ		(1)オキ		3
	文学評論Ⅱ	「サヨナラ」ダケガ人生ダ	338~343	(2)イ		(1)オカ		4
П	大于計酬Ⅱ	参加する観客―映画の「意味」	344~353	(1)ウ(2)イ		(1)イキ		5
_	小説Ⅳ	氷男	354~367	(1)アイウエ(2)ア イ		(1)エカ		6
部		舞姫	368~398	(1)アイウエ(2)アイ	(1)ウエ		8	
		[小道具と時代背景⑤] 官費留学	399	(1)ウ	_	_	_	_
		[小説コラム4] 「舞姫」は恋愛の物語か?	400~401	(1)ウエ	_	_	_	_
		活動のプロセス6 短編小説を書く	402~405	(1)エ(2)イ	(1)ウエ		2	
	付録	日本近・現代文学史年表	406~415	(2)イ	_	_	_	_
	/	学校系統図/軍隊の組織・編制図	付録	_	_	_	_	_
		翻訳が広げる原文の可能性	後見返し	(1)エ(2)イ	—	—	_	_
		書き出しが誘う小説の世界	後見返し	(1)エ(2)イ	—	—	_	_
							30	110
	総計					総計	1	40